

2022年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘中央学園
浦添看護学校
学校関係者評価委員会

学校法人湘中央学園浦添看護学校学校関係者評価委員会は「2022年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて保護者、卒業生、業界関係者による評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1. 教育理念・目的・育成人材像

○教育理念・目的・人材育成像は、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーで明確になっている。職業教育としての特徴は、将来看護師として働くことに鑑み「臨床判断能力」に繋ぐ基礎的能力の育成や地域社会と連携した教育の展開である。

社会のニーズを踏まえた学校の将来構想については、学校の運営委員会で意見交換をしているが、18才人口の減少、大学志向が増加しつつある現状を見据え、看護師養成所の魅力を如何に発信するか等について、様々な視点からのディスカッションが必要であることから新たな委員会を創設することも必要であると考えます。

2. 学校経営

○目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画は湘中央本部から示される項目及び内容に基づき策定され、湘中央学園理事会で承認を得ている。運営組織や意思決定機能は学則に基づく諸規定において明記されている。人事、給与規定も明確（労働基準法に基づく）になっている。

業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制や教育活動に対する情報公開、情報システム化による効率的業務遂行等についても評価報告書から十分になされていることがうかがえる。

3. 教育活動

○教育理念に沿った教育課程の編成については第5次カリキュラム改正に係る取り組みの中で再確認ができ、カリキュラム改正前との整合性は十分に取れている。又、教育方法や評価などについては「シラバス」や「履修規程」に基づき、的確に実施されている。さらに関連分野に係る実践的な職業教育としては、看護師養成所の特徴である臨地実習がそれに相当する。

カリキュラム開発には職業実践専門課程に関連する「教育課程編成委員会」の意見等を吟味して検討を進めるようにしている。教育実践に係る授業評価はあらかじめ策定された評価表に基づき、その都度実施している。学生の成績評価や単位認定、卒業認定も「履修規程」に基づき実施している。学生の成績評価の結果は教務会で全教員参加のもとで議論し、共有している。また、その結果は授業改善につながるよう努力している。

○教育活動における教員の実態として教員養成講習会未受講者数が減少したこと、は「未受講者が多い」という積年の課題解決につながったと考える。

4. 学修成果

○進学者の数は毎年2～3名程度である。就職率は常に100%状況にあるが、コロナ禍で臨地実習が十分でない中での卒業・就職に学生の不安は尽きないようである。学校としては卒業後のフォローにも気を配ってほしい。

資格取得になる国家試験合格率は全国平均並みで、100%合格には至っていない。しかし、向上のための対策はキャリア支援チーム及び国家試験対策委員によるプランのもと、計画的に実施されている。

卒業生や在校生の社会的評価に関しては、在校生のボランティア活動が地域住民から好評価を得ている。卒業生については「中途離職者はいない」や「浦看卒業生は根性がある」との声は聞くが客観的なデータにはしていない。卒業後の卒業生に係る現状調査は今後の課題と考える。

5. 学生支援・学生指導

○学生に対する経済的な支援については「日本学生支援機構」をはじめとする経済支援団体の情報提供をリアルタイムに行い、学生支援につなげている。又、健康管理に関しては、学則に基づき年1回定期健康診査を実施し、課外活動及び生活支援に関しては、学生の状況に合わせてその都度キャリア支援チームを中心に対応している。新型コロナウイルスに関するワクチン接種は、希望者のみ集団接種を行っている。

その他、保護者との連携はオンラインで保護者会を行い、スクールカウンセラーも二人制にし、対応はスムーズである。

6. 教育環境・法令遵守

○施設整備についてはコロナウイルス感染拡大に伴うリスクを可能な限り抑えるために昨年以來引き続きシミュレーション実習ができるようにしている。その中で模擬電子カルテの導入は臨場感を伴った学びに繋がったと思う。学内での授業も必要時、オンラインと対面を併用して行っている。その他、学内に無人キャッシュレス店舗の設置を行ったことは学内アメニティとして効果的である。

防災については、学内に防災に係る委員会を設置し、委員会活動の一環で防火活動を年1回実施している。

○法令遵守については、毎年の教育実践報告は沖縄県を經由し、厚生労働省、文部科学省に滞りなく行われている。学生の成績評価については、看護学領域ごとに共有し、必要に応じて家族とも共有するようにしている。

7. 学生受け入れ募集・社会貢献・地域貢献・特別活動等

○学生の募集活動については、コロナ禍の中、活動はかなり制限されたが、高校へのパンフレット配布は精力的に行っている。高校の進路指導教諭を対象にした進路相談はオンラインで行い、入学試験に関する情報交換を行っている。

コロナ禍で実施できていなかった対面でのオープンキャンパスを今年度は2回行っている。1回目は予約制、人数制限をしながら実施し、好評であったことを受け、2回目は人数制限なしで実施している。毎回、約100人前後の参加者を得た。

○地域・社会貢献・国際交流は学校のねらいとする教育が「地域に根ざした看護基礎教育」を標ぼうしていることから積極的に活動している。

今年度実施した、浦添市自治会と連携した、高齢者とのクリスマスでの交流会、敬老の日でのお祝いメッセージを届ける等は非常に効果的だった。その成果が2年生の老年看護学実習への連携に繋がった。又、従来行われている JICA 沖縄国際交流センターとの連携は国際交流という視点で考えると外国に行くことなしに地元でできるというメリットは大きい。今後も継続さらに充実・強化を望む。

又特別活動としてのクラブ活動は、コロナ禍とも重なり、今年度も十分ではなかった。

以上